

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」常総校		
○保護者評価実施期間	2024年11月18日		～ 2024年12月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常総校の強みは、心理学、教育学、言語療法などの優れた専門家がいることで、保護者は常に子どもの教育についてアドバイスを受け、必要に応じて関係機関へのサポートを受けることができます。	専門性を活かした良質かつ適切な支援の提供と、保護者・児童の意向に沿った支援内容	きらり常総はSNS(フェイスブック・インスタグラム)で支援を表明している
2	常総校スタッフと親子の関係は、専門的な信頼関係が成立しています。	事業所内だけでなく、必要に応じて相談員、福祉行政機関、児童相談、保険センター、発達支援センター、教育委員会・学校、こども園などと連携し、言語的サポートをしています。	様々な課題やライフステージに応じた適切な支援を今後も展開してまいります。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内がワンフロアでやや狭い環境のため、児童が集中して療育支援に参加できない面があります。	ワンフロアの中に、事務スペースと支援スペースが混在する状況があるため、分ける方法を検討してきました。	事業所の移転を行う予定です。設備面の充実も行います。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」常総校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2024年 12月 24日

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6			1		引き続き、環境整備に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5			2		法令に準じた配置と専門性確保に努めています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3			3		できる限り配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					清掃と整理整頓に努め、安心安全に利用できる空間を設定しています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					専門職を配置し、特性と発達段階に応じた良質な支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6			1		5領域に沿った支援プログラムを作成し支援内容を検討しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					利用者の意向に沿って、改題解決のための計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			2		ガイドラインに沿った項目で作成された個別支援計画を使用しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					個別支援会議は全員参加し協議しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			2		専門性を活かした個性性の高い支援を展開しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7					特にありません。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					適宜丁寧に対応しています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6			1		適宜丁寧に対応しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6			1		保護者からの相談には随時対応しています。また研修会も実施しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6			1		可能な範囲で共通理解が得られるよう配慮しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6		1			適宜対応しております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5		2			平素より、受容・傾聴・共感の立場で丁寧に接するよう努めています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7					父母会としての実施はありませんが、家族参加のイベントや研修会を行い、交流の機会を設けています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					迅速かつ適切な対応に努めています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					それぞれの状況に応じて適切に対応しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7					定期的にブログ、フェイスブックを更新しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					個人情報保護規程に沿って、適切に対応しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			1		各種マニュアルを整備し、定期的な見直し、研修を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			2		月1回程度、各種避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					安全計画については、保護者にも丁寧に説明しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						丁寧に説明しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					安心して通所していただけるよう、努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5			2		楽しく通所していただけるよう、努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					引き続きご満足いただけますよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」常総校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		ワンフロアのため、レイアウトを工夫しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			法令に沿って配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			現在利用されている児童に支障はありませんが、更に集中できる配慮が必要と思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			日々の掃除、整理整頓には十分留意しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	利用者本位で気持ちを重視した配慮された受け入れを行っています。	空間が狭くなってきたため、移転を検討しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		PDCAサイクルにより、業務改善につなげております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		保護者及び本人の意向を把握し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	日々の打ち合わせ、会議、委員会、！ON！ミーティングで意見を引き出しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		第三者評価は実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		年間計画に沿って研修を実施しております。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			5領域に沿った支援プログラムに沿ってサービス展開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			標準化されたアセスメントシートを使用して、児童の状態を把握し、そのニーズと特性、発達段階に応じた支援をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		個別支援会義を全員参加で実施して、共通理解を得ながら進めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		個別支援計画は、共有できる状態で、適切に展開されています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			標準化されたアセスメントシートを使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			5領域ごとの目標設定と支援内容を盛り込んだ個別支援計画を作成し、計画に基づいた内容でサービス提供しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			協議の上作成しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		固定化しないよう、専門性を活かしたアプローチで取り組むようにしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	状態に応じて柔軟かつ適切な支援展開をしています。	子供の気持ちや保護者の意向も踏まえた展開に留意しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		当日の役割分担は、共有できるよう配慮されており、チームアプローチで取り組んでいます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			コミュニケーションを密にし、支援に関しても振り返りや相談をし合って、更なる質の向上に努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		支援記録は目標や内容に沿ったものとして、評価しやすいよう配慮しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		半年に1回モニタリングを行い、目標に対する進捗状況を把握し、次の目標設定を、保護者・本人と確認しながら行います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		ガイドラインに沿った目標・支援内容の展開に努めています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1		児童の意思を尊重した支援展開を心掛け、場面に応じて選択肢のあることを意識できるような展開を心掛けています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		基本的には児発管が参加し、状況に応じて指導員も参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		必要に応じて連携できるようにしています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		保護者、担任の先生と定期的に連絡できるように努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		必要に応じて情報共有を行っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		現状で事例がありませんが、今後そのような段階に直面した場合は、適切な対応を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			利用者の状況に応じて、困難なケースの場合は相談しております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		現状において事業所として交流する機会を設けていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			地域に参加できる自立支援協議会は存在しません。研修会などは参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		適宜保護者との情報共有を行っております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			必要に応じたアドバイスをしております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		契約時に丁寧に説明しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		保護者・利用者の意向に沿ってニーズを特定し、目標と支援内容をご了承いただきながら支援しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1		同意のうえで個別支援計画を発行しています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			相談があった際は、真摯に対応しております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			現状において、保護者会は開催できておりませんが、ご家族参加のイベントなどは開催しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		迅速かつ適切に対応できるよう心掛けております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		定期的にブログ、フェイスブックを更新しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			個人情報の管理は徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			各々の状態に応じた配慮を心がけております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			6	実施しておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			各種マニュアルを整備し、研修及び訓練を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			研修及び訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			契約時に、聞き取りを行い、周知しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			アセスメントの際にアレルギーについてお伺いし、留意しております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			安全計画に沿って運営していることをご説明しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			安全計画に沿って運営していることをご説明しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			ヒヤリハットがあった際は、記録するとともに打ち合わせ時に口頭でも共有しております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			研修会を実施するとともに、会議や委員会での内容を周知徹底しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			研修を通じて、周知徹底しています。	